

Finding the Speaker-listener Equilibrium: Segmental Phonological Models in EFL

山本勝巳*

2008年3月24日

1 Introduction

- Q: 母語話者が RP と比べて少ない子音・母音で意志疎通を行っているのであれば，すべての非母語話者に対して RP での区別を教える必要があるのか
 - － 子音
 - － 母音
- Q: 第二言語としての英語の変種に着目するとどうか
- 非母語話者に対して reduced system を教えることの可否

2 Comprehension

- 非母語話者に対して reduced system を教えること：詳細に考えてみると必ずしもいい考えではない
 - － 非母語話者のニーズは母語話者のニーズとずいぶん異なる：大半でないにせよ，多くの EFL 学習者は母語話者の用いる英語を理解する必要があるし，そうなることを求めている
 - － non-native listeners は話しているのが母語話者でも非母語話者でも理解するのがより困難である
 - － より多くの情報が必要になるのは分節音のレベルで特に重要である：音韻対立の消失・リズム・音素配列
 - * 音韻に関する情報は native より non-native にとってより重要である（背景知識の欠如・文脈情報が利用できない・語の頻度・語配列の重要性）
 - * non-natives は音韻情報により依存するが，それをうまく利用することができない
 - * 母音の知覚と生成の間の正確さの関連

3 まとめ

聞き手としての非母語話者という論点が興味深いと思われる。

*関西福祉大学